

装着後の注意点

● 装具のメンテナンス

- ・汚れが気になる場合は水で薄めた中性洗剤を含ませたタオルで汚れを拭きとってください。
- ・乾かす場合は必ず陰干ししてください。
- ・修理が必要になった場合は装具会社に連絡してください。
- ・修理には診察が必要な場合と費用が発生します。

● からだのチェック

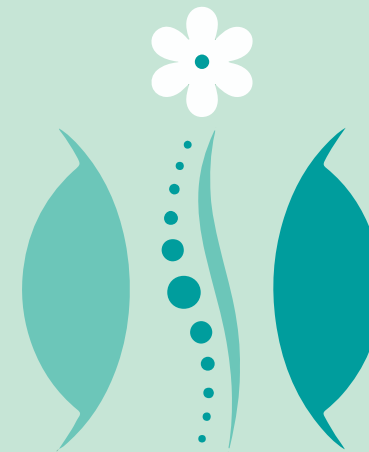
- ・入浴時などに自分の体に赤み・傷・黒ずみがないかチェックしてください。
- ・保湿クリーム・ワセリンなどを塗ってケアすると黒ずみ対策になります。

● 赤み・傷・痛みがある

下着のシワや縫い目で痛みが生じる場合があります。下着を整えてみてください。
赤みが生じた場合、装具を外し様子を見ましょう。
改善がない場合は、医師または装具会社にご相談ください。

● 成長して装具が合わなくなった

ベルトの締め加減は自分で調整します。
初回より辛く感じたらベルト印まで締めずに緩めてください。
まず下のベルトから緩めていくようにしてください。骨盤周りは幹部組織が多いので締め易いですが、成長変化が大きい箇所です。締め過ぎると傷や痺れ等生じる恐れがあります。
成長して合わなくなった場合は、十分な矯正効果が得られない可能性があります。
成長の変化を医師に必ず報告するようにしてください。



側弯矯正装具

OCGH BRACE

鈴木義肢装具株式会社

〒581-0081 大阪府八尾市南本町9丁目9番24号

TEL: 072-993-2457

E-mail: info@suzuki-po.co.jp

どんなふうに矯正するの？

反対側は支持が何もないと胸椎の押さえて体が傾いてしまいます。

傾きを戻すためにわきの下までプラスチックの長さがありよっこいしょと起こして支えています。

腰椎がカーブの矯正は

いちばん曲がっている椎体を後方から押していきます。

こぶしでぐーっと押していくイメージ。

胸椎のカーブの矯正は

いちばん曲がっている胸椎とくっついて肋骨を面で押していきます。

手のひらで反対側に押していくイメージ。

骨盤は土台としてプラスチックで覆っています。座れる長さです。

※側弯症のカーブ・装具の仕様は人それぞれ異なります。

装着のまえに

側弯矯正装具

前後の確認

ベルトがある方が背中側
前面はお腹に少し圧が
かかる形に作られています

ウエストの位置

装具のウエストの位置は
自分のウエストの位置と
必ず合わせて装着します

シワを伸ばして

肌着のシワをしっかり
伸ばしてください
当たるととても痛いです

全体

骨盤からわきの下まで
プラスチックで覆われて
います

矯正に必要な膨らみや
フェルトが付いています



必ず肌着を！

装着が直接地肌に触れ
ないように肌着を着用
してください

ベルトの確認

ベルトは3本！
交互に固定されています

装着

装着は本人が管理します
コツを掴むと装着も簡単
にできるようになります

覚えておこう

ベルトの取り付け位置
上のベルトは 右
中のベルトは 左
下のベルトは 右

装着して みよう！

装具の装着方法

1

ウエストの位置を合わせる

装具のウエストの位置を自分のウエストの位置に合わせて体にはめます。

2

ベルトを締めます

まず、真ん中のベルトを仮止めます。
次に下のベルト、上のベルトを締めます。
真ん中 → 下 → 上 の順に締めていきましょう。

3

ベルトを締めるコツ

両手でベルトの先を持ち、円を描くように遠くにベルトを引っ張ります。
締められる分だけ引っ張りましょう。

4

しっかり締めていこう

上下のベルトを締めると、締めた分だけ真ん中のベルトが緩むので締め直しましょう。
真ん中のベルトを締め直すと上下のベルトが緩むので再度締め直しましょう。
これを繰り返していきます。



始めは少しずつ練習しながら締めてください。家族・友達・先生等に手伝ってもらいましょう。慣れてくると自分で締められるようになります。

装着後の注意点・工夫

患者様によって対応は様々ですが、これまで伺ったご意見や工夫などを記載しています。

●汗対策

夏場は汗をかきやすく装具の内部は熱がこもりやすいです。臭い対策や衛生面を考えて、汗を吸収し易い素材の肌着を使用してください。

●学校生活

登校時も装着が必要な場合、事前に学校へ相談しておくとう学校生活がスムーズです。
多くの方は担任と保健室の先生に相談をしています。思春期に多い疾患なので知っている方も多く、保健室の先生には着替えで保健室を借りたり、装着のお手伝いを相談しています。
体育座りがしにくいので足を崩す許可を得たり、学校によっては最後尾に移動し椅子を用意してもらう場合があります。
体育など運動時には装着を外してください。動きにくいのと、誰かとぶつかってしまった場合には怪我をする恐れがあります。
1日運動をする場合は装着を外して登校し、帰宅後に装着するなど状況に応じてください。

●食事

食事中苦しくて普段より食べられない、吐き気がする場合
食事の前にベルトを緩めるか、装具を外して食べるようにしましょう。
食後おなかが落ち着いてから装具のベルトを締め直す、または装着するようにしてください。

●下着の工夫

装具の上にパンツを覆い被せて履くとトイレの際に脱ぎ着が楽です。
生理中にパンツのズレが気になる方はパンツを2枚履き、スポーツ用のインナーパンツを重ね履きしてズレ予防にしているそうです。
ブラジャーのワイヤーや縫い目の段差で痛みが生じる事があります。ブラトップやノンワイヤー等を検討してください。

●診察を受ける前に

前日の夜から装具を外して診察を受けましょう。診察当日は必ず装具は持って行ってください。

生活の中で困ったこと、工夫したことがありましたら、
お話を伺えとうれしいです。